



味坂っ子だより

令和8年度
小郡市立味坂小学校
学校だより 第5号
令和8年 6月15日
校長 江上 征一

◆「教育フォーラム」に参加しました！

3日(水)、台風の影響が心配されましたが、5,6年生が「教育フォーラム」に参加しました。「教育フォーラム」とは、宝城中学校区《人権のまちづくり》の取組の1つで、宝城中1,2年生、御原小5,6年生、味坂小5,6年生が集まり、小グループに分かれてテーマに沿って意見を交流する取組です。「各校の子どもたちが自由に意見を交流し合い、互いの人権意識を高めること」「子どもたちの生の声を大人が聞き、子どもを理解し、家庭・地域でどのように子どもを育てていくかを考える機会にすること」が大きなねらいです。また、子どもたちにとっては中学校に向けての不安を軽くするという側面も大きいです。

本年度のテーマは「わたし OK、あなた OK のコミュニケーション」でした。複数枚のイラストを準備し、自分ならどう声をかけるか考えを交流しました。はじめは緊張してぎこちなかった子どもたちも、他の子や中学生の意見を聞きながら「なるほど、そんな考え方もあるのか!」「今の考えは相手のことを考えてなかったな・・・」と、気付きの多い意見交流になりました。



【まずはアイスブレイキング!】



【この子にどう声をかけよう・・・】



【こんな言葉はどう思う?】

◆縦割り班のめあてづくり「味小フォーラム」

3日の教育フォーラムを受け、9日(火)「第1回味小フォーラム」を行いました。味坂小では全学年参加の縦割り班活動に取り組んでいます。縦割り班ごとに、自分が頑張っていることを皮切りに、味坂小のよさと課題を整理し、班ごとに今年頑張りたいことを決めます。そして、2月の第2回味小フォーラムで振り返りをします。これが「味小フォーラム」です。

縦割り班は10班、6年生も10人ですから、一班に一人しか6年生がいません。しかし、教育フォーラムでの経験を活かし、率先して一生懸命に話し合いをリードしてくれました。5年生も6年生をよくサポートしてくれ、1~4年生が安心して意見を出せるようにしてくれました。

今年は1時間での取組に変更しましたが、短い時間の中でもぎゅっと実のあるフォーラムになりました。



【なにが課題だろう・・・?】



【これなら頑張る価値があるかな!】

◆本に掲載されました！

味坂小では、4年生が「本のPOPづくり」に取り組んでいます。

POPとは、みなさんも書店等で目にされたことがあると思います。新刊やおすすめの本を手にとってもらうために、色やデザインを工夫して短い言葉で本を紹介しているカードなどを指します。

6年生の日野美咲さんが4年生の時に作成したPOPがコンクールで入選し、今年発刊された本に載りました！「装飾やアイコン・イラストがステキ！」というカテゴリーで紹介されています。

この本は図書室にあるので、手に取って見てもらうと、たくさんのPOP作品や作り方のヒントが載っていますので、楽しいと思います！

国語の学習で読んだ物語や説明文、また、自分が読んだ本を自学でPOPを作ってみるなど、自由に取り組んでみると面白い、

◆「サキドリ」研究校を受けています。

本校は、令和6年度より3年間、福岡県の研究指定を受け、「STEAM教育の推進」に関して総合的な学習の時間を軸に取り組んでおり、本年度は最終年度の研究報告会を11月に行います。

同時に本年度より2年間、文部科学省の研究指定「サキドリ」に取り組んでいます。

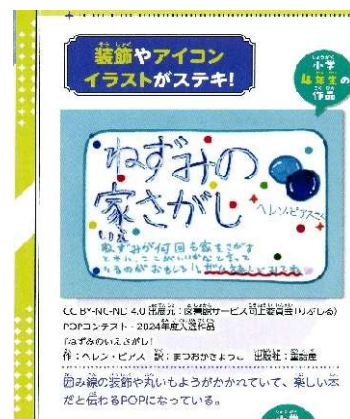
次期学習指導要領では、多様な個性や特性を有する子どもたちを包摂し、子ども一人ひとりの可能性を輝かせるために、現在の教育課程・授業時数にとらわれない「教育課程柔軟化」が推進されます。

「サキドリ」とは、そのための取組を先取りして行い、全国にその事例を提供するために取り組むものです。

本校では、取組の内容を県の重点課題研究と重ね、総合的な学習の時間を軸に、教科の学習内容の精選を図り、標準授業時数の増減を行いました。具体的には、国語科・算数科を中心に内容を見ながら時数を減らし、その時数を総合的な学習の時間への上乗せと、新たに「情報の領域」をつくり、その時間を生み出しています。

総合的な学習の時間は、昨年度の実践をもとに更に充実させます。「情報の領域」では、生成AIの活用や情報の吟味をふまえて、段階的に情報活用の力を育てていく学習です。

時数の増減はいたしますが、基礎的な基本的な学力の低下を招かないように取り組んでまいります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



7次科初案 2062号

サキドリ研究校指定書

小郡市立味坂小学校を
教育研究開発実施要項
(教育課程柔軟化サキドリ研究校事業)
(令和7年8月28日文部科学大臣裁定)
に基づき令和8～9年度
サキドリ研究校に指定します。

令和8年2月13日

文部科学大臣 松本 洋平

○教育課程

1年間を見据えた各種カリキュラム

○標準授業時数

学習指導要領に定められている、各教科・領域で年間に取り組まなければならない最低時数

○生成AIの活用

規約上小学生(13才以下)でも利用可能な生成AIを使用して対話によって思考を深める

○情報の吟味

その情報が正しいのか、フェイクなのか吟味すること